

学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル

～学校の新しい生活様式～

(5月22日 文部科学省資料を基に作成)

■ 基本的考え方

新型コロナウイルス感染症と共に生きていく社会を前提とし、学校において「3つの密の回避」、「マスクの着用」及び「手洗いなどの手指衛生」等 基本的な感染対策を継続する「新しい生活様式」を導入し、感染及び拡大リスクを可能な限り低減しつつ教育活動を継続し、子供の健やかな学びを保障



地域ごとの行動基準

レベル3：特定警戒都道府県に相当する感染状況である地域 レベル2：感染拡大注意都道府県に相当する感染状況である地域等
レベル1：レベル2の基準に達していない地域

地域感染レベル	身体的距離の確保	感染リスクの高い教科活動	部活動
レベル3	できるだけ2m確保 (最低1m)	行わない	個人や少人数でのリスクの低い活動で短期間での活動に限定
レベル2		リスクの低い活動から徐々に実施	リスクの低い活動から徐々に実施し、教師等が活動状況の確認を徹底
レベル1 (鳥取県)	1mを目安に学級内で最大限の間隔をとること	十分な感染症対策を行った上で実施	



学校における対策

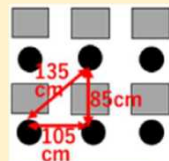
<基本的な感染症対策>

- ① 感染源を断つ（健康状態の把握）
- ② 感染経路を断つ（マスクの着用、こまめな手洗い、消毒）
- ③ 抵抗力を高める（十分な睡眠、適度な運動、バランスの取れた食事）

<3つの密の回避>

- ① 密閉の回避（エアコン使用時を含め換気を徹底）
- ② 密集の回避（身体的距離の確保）
- ③ 密接への対応（体育の授業を除き原則マスク着用）

※「密集回避」：レベル1の座席例（40人クラス）



具体の活動ごとの対応（レベル1）

◆ 各教科

長時間にわたって密集・対面となる「グループワーク」「合唱」「調理実習」等は、可能な限り感染症対策を行って実施

◆ 部活動

可能な限り感染症対策を行って通常の活動を実施

◆ 学校給食

感染症対策・衛生管理を徹底して学校給食を提供

◆ 図書館

感染症対策を徹底、密集回避に配慮して貸出機能維持

◆ 登下校

登下校時に、必要に応じマスクの着用、3つの密を回避する工夫や指導を実施

